

日本災害情報学会 第 19 回学会大会に参加しました(2017/10/21-22)

テーマ：災害情報

場所：京都大学防災研究所（京都府宇治市）

10月21日(土)～22日(日)の2日間、京都大学防災研究所において、日本災害情報学会第19回学会大会（主催：日本災害情報学会）が開催されました。日本災害情報学会は「災害情報」をキーワードに、防災・減災に役立つ災害情報や、その伝達・受容のあり方などを調査・研究する学会です。当研究所からは佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が口頭発表2件とポスター発表1件を行うとともに、熊本地震に関するセッションで座長をつとめました。発表では多くの質疑・コメントをいただき、高い反響を受けました。

各発表者の講演題目等は次の通りです。

【口頭発表】

佐藤翔輔，今村文彦：2016年熊本地震災害におけるウェブ報道の量的傾向：それ以前の地震災害報道と比較して

須藤龍也，佐藤翔輔：2017年7月九州北部豪雨における「#救助」ツイートの発信状況とその考察

【ポスター発表】

佐藤翔輔，今村文彦ら：東日本大震災に関する公開動画検索システムの構築：「動画でふりかえる3.11ー東日本大震災公開動画ファインダー」

※著者名は、筆頭者と研究所構成員のみ記載、下線は研究所構成員



佐藤翔輔助教の発表の様子



別会場（佐藤翔輔助教の共著発表）の様子

文責：寅屋敷哲也（人間・社会対応研究部門），佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）